

# 信濃川と ともに 暮らす カタチ

## 自然によりそったかたち（その2）

魚ぎょのとおり道どうである魚道ぎょどう。さかなに優しいカタチ・魚道ぎょどうを整備した大河津洗堰おおこうづ らいげきを紹介します。

### 魚道

大河津洗堰おおこうづ らいげきとは？

大河津洗堰は、新潟市の河口まで至る信濃川に流れる水の量を調節する施設です。

現在の洗堰は平成12年度に通水しました。

● 魚道観察室

大河津分水路

魚道

魚道

魚道観察室

自由に見学  
できます

信濃川

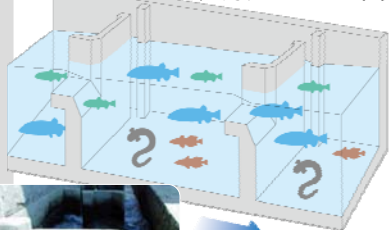
図10.1.1 完成直後の大河津洗堰

魚道ぎょどうとは？

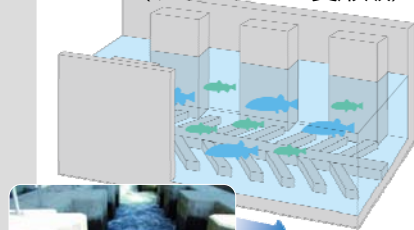
魚が構造物で遮られて行き来が出来なくなることが無いように、自由にどこにでも移動できるように回遊路かいゆうろの確保を目的に設置する施設です。

魚道ぎょどうの種類

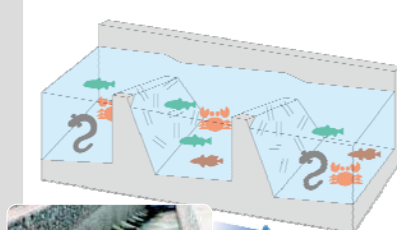
アイスハーバー  
＋パッチカルスロット式



底部阻流角材式  
(ラリアパス変形版)



傾斜隔壁型



凡例  
代表的な魚の種類

-  サケ、サクラマス
-  イトヨ、アユ、ウグイ
-  ウナギ
-  カジカ
-  カニ

対象魚種：大型・小型遊泳魚、底生魚（サケ、アユ、ウナギ等）  
特徴：比較的力の強い魚を対象。流れは早い。

対象魚種：大型・小型遊泳魚（サケ、アユ等）  
特徴：中間的な流れの速さ。

対象魚種：小型遊泳魚、底生魚、甲殻類（アユ、ウナギ等）  
特徴：カニなどが這ってのぼれる。流れは遅い。

図10.1.4 魚道の種類と特徴

大河津洗堰おおこうづ らいげきの魚道ぎょどう

大河津洗堰周辺において、魚類などの生息調査等の様々な調査を行いました。

そして、他の魚道事例や魚道の研究成果等を整理し、設計検証する魚の種類ぎょの選定、最適な魚道形式と配置計画を検討し、かたちを決めています。



図10.1.2 魚道の状況

魚道ぎょどうの構造

別々の特徴を持つ3種類の魚道ぎょどうを連ねた構造となっています。

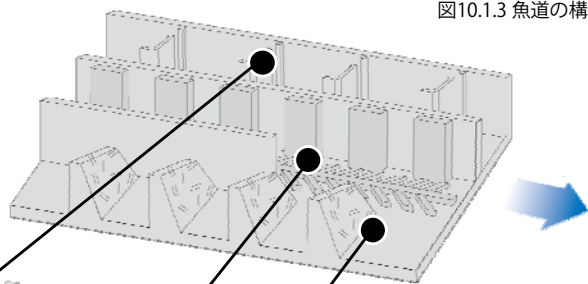


図10.1.3 魚道の構造